

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成26年11月13日

陰の功労者！無人化施工オペレーターが 「建設マスター」を受賞

発信元
雲仙復興事務所
砂防課 長田

優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）を受賞（職種「建設機械運転工」）された、松野晴彦氏（長崎県諫早市（57歳））が受賞報告に雲仙復興事務所に来所されました。

松野晴彦氏は、無人化施工が雲仙普賢岳で本格導入されたH7年度（H5年度の試験フィールド制度でスタート）から無人化建設機械のオペレーターとして雲仙での災害復興に延べ約8年間従事されました。今回の受賞は、平成24年度完成工事「赤松谷川8号床固工工事」（元請：青木あすなる建設㈱、下請：㈱富島建設（無人化建設機械のオペレーターとして約19年間専門に従事））の実績などが高く評価されたことにより受賞にいたったものであります。無人化建設機械オペレーターとしては、全国で2人目の快挙となります。

土木工事を支える現場従事者の模範として、今後も若手や将来の土木技術者の指導・育成、目標として活躍を期待しております。



普賢岳と桜島での作業は**噴石が有ったため**、操作室の上を鉄板で覆って作業していました。これからも安全第一に頑張っていきたい。

技能者の地位向上の為、技能者が自分の仕事に誇りを持つように（建設マスター制度を）利用したい。建設業は絶対に必要な産業。無人化施工の技術も設備も環境も当時からするととても良くなった。

建設マスター：優秀施工者（被顕彰者）の通称。建設産業に直接従事されている個人で現役として活躍し、技術・技能が優れているなど、H4年度より「優秀施工者国土交通（建設）大臣顕彰」として受賞された方のことです。H26年度受賞者は389人（平均年齢51.6歳（最低37～最高70歳）、建設機械運転工46人、土工45人ほか）。





当日は、新聞2紙の取材を受け、後日掲載されました。

ブルドーザーによる敷均し作業



無人化機械の操作状況
(赤松谷川3号床固工事)



【来所者】

建設マスター受賞者(職種「建設機械運転工」)：松野晴彦 氏

同行者：

㈱富島建設 常務取締役九州支店長 新井昌秀氏

青木あすなる建設㈱九州支店執行役員支店長 田野慎一郎氏 他2名



九州地方整備局では、一般の方が見学できる現場見学会情報「今見てほしい九州の土木」をHPで公開しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-torikumi/kyushu-doboku/index>

☆☆ホットニュースの発行について☆☆

企画課までいろいろな情報を配信してください。

宛 先：kikaku@qsr.mlit.go.jp

問合せ：樋口課長(マイクロ3151)、續木課長補佐(マイクロ3155)

担 当：川野係長(マイクロ3191)、久保(マイクロ3167)

各課・各出張所からの情報をお待ちしています。
【記事の詳細については、発信元に問い合わせ下さい。】